

2017年－2018年度情報システム・情報セキュリティ監査業務委託契約

(公告日：2017年11月7日／公告番号：国契-17-091) について、入札説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構
調達部次長（契約担当）

通番	該当頁	項目	質問	回答
1	P. 21	4. 業務実施上の留意事項（1）監査期間と成果物の提出について	中間報告書（企画・開発段階）の提出時期として、2018年度期初と記載されていますが、納品期日としては何月何日ごろを想定されておりますでしょうか。	4月30日を想定しています。
2	P. 21	5. 業務の内容（1）共通サーバー、共通データベース、機関システムにおけるシステム移行リスクの監査（2017年度-2018年度実施）	2017年度と2018年度それぞれの工数が記載されていますが、この作業比率を変更した提案をすることはできますでしょうか。例えば、2017年度は予備調査のみを実施し、これを2017年度の成果物とし、被監査部門への質問書提示以降を2018年度に実施するといった形を想定しています。	作業比率の変更は可能です。成果品の納品は、情報セキュリティ監査が2017年度末、情報システムの中間報告書が4月30日、最終報告書が2018年度末になります。
3	P. 21	5. 業務の内容（1）共通サーバー、共通データベース、機関システムにおけるシステム移行リスクの監査（2017年度-2018年度実施）	報告書（中間・最終）の作成の工数とP. 28「入札金額内訳書」の監査報告書作成の工数に差異がありますが、どちらを正ととらえればよいでしょうか。	報告書の工数は、3人日×7システム＝21人日としてください。
4	P. 21	5. 業務の内容	監査対応を行うものは全員、何らかの有資格者である必要はありますか。または、監査のフェーズにおいて、このフェーズは有資格者が対応する必要がある、または望ましいといった項目があれば教えてください。（例えば、被監査部門と対峙する際には有資格者を1人以上含めてほしい等）	全員が有資格者である必要はありませんが、成果品は有資格者である業務従事者が責任を持って作成してください。
5	P. 28	入札金額内訳書	P. 28「入札金額内訳書」の工数（人日）の計が420人日と記載されていますが、各区分の工数の合計値は326人日になり、差異がありますがどちらを正ととらえればよいでしょうか。	合計でなく積算の326人日を正としてください。
6	P. 34	第5 契約書（案）業務委託契約書（支払）第15条	本案件は年度をまたぐこととなりますが、支払いは一括となりますでしょうか。また、年度ごとに作業実績に合わせた金額を支払いをいただくことは可能でしょうか。	支払いは成果品の提出ごとに3回とする予定です。時期は質問2を参照ください。

入札金額金額内訳

(単位 円)

区分	工数 (人日)	単価	金額
情報システム監査2017年度 (企画・開発工程)	154.0		0
予備調査・監査プログラム	42.0		0
監査実施	63.0		0
監査調書作成	28.0		0
監査報告書作成	21.0		0
情報システム監査2018年度 (移行行程)	112.0		0
監査実施	63.0		0
監査調書作成	28.0		0
監査報告書作成	21.0		0
情報セキュリティ監査2017年度	60.0		0
予備調査・監査プログラム	10.0		0
監査実施	30.0		0
監査調書作成	10.0		0
監査報告書作成	10.0		0
計	326.0		0
		消費税	0
		合計額	0